

第8次中期経営計画(2019年度～2021年度)

当金庫では、2018年6月に当金庫初となる長期経営計画「架け橋2028」を策定したことから、第7次中期経営計画を2019年3月までの2年間で終了とし、2019年4月から第8次中期経営計画をスタートしました。

■経営ビジョン(2028年のありたい姿)

地域に寄り添い、お客さまと強い絆で結ばれた南信州の価値向上に貢献する金融機関

- 常にお客さまの立場になって考え、行動することで、強い信頼関係が結ばれている。
- 地域の現状をしっかりと把握し、地域の将来の可能性を見据え、地域の発展に寄与する施策を自ら積極的に展開し、南信州の価値向上に貢献している。

■当金庫の経営計画のフレームワーク



■第8次中期経営計画の概要(1)

既成概念や前例にとらわれることなく、職員一人ひとりが自分自身の頭で考え、創造力を発揮すること。そして、変化に取り残されることのないよう、常にスピード感を持ち続け、組織はもとより、自らの改革に対しても、本気でチャレンジすることを基本方針として取り組んでまいります。

名称	架け橋2028 First Stage ～改革へのチャレンジ～
期間	2019年4月1日 ～ 2022年3月31日
基本方針	職員一人ひとりが創造力を発揮し、スピード感を持って、本気で改革にチャレンジする
ありたい姿 (=経営ビジョン)	地域に寄り添い、お客さまと強い絆で結ばれた南信州の価値向上に貢献する金融機関
重点課題	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改革 <input type="checkbox"/> 業務改革 <input type="checkbox"/> 組織・人事制度改革 <input type="checkbox"/> 店舗体制・店舗機能改革

■第8次中期経営計画の概要(2)

「地域活性化への取組強化」、「収益力の強化」、「お客さま本位の営業推進強化」の3つを重点目標とし、これを達成するための9つの重点施策を展開します。

また、重点施策の実効性を高め、重点目標の達成を目指すため、「業務プロセス改革」、「店舗体制・店舗機能改革」、「組織・人事制度改革」の3つの業務改革を着実かつ確実に遂行します。

重点目標

地域活性化への取組強化

収益力の強化

お客さま本位の営業推進強化

重点課題

業務プロセス改革

店舗体制・店舗機能改革

組織・人事制度改革

業務改革

重点施策

- 地方自治体等との連携強化
- 成長ステージに応じたソリューション提供の強化
- 将来の地域を担う人財の育成支援強化
- 貸出金利息収入の増強
- 安定収益確保を重視した有価証券運用の強化
- 収益マネジメントの深化
- 営業推進体制の転換
- お客さまのライフプランサポートの強化
- お客さま志向のサービス提供と顧客保護管理態勢の強化

■業務改革の概要

重点課題である「業務改革」の遂行により、経営資源(時間・人員・資金等)を創出し、付加価値の高い分野に活用します。また、働き方改革が推進され、当金庫は時代に対応した働きがいのある職場へと進化します。これにより、組織全体の生産性が向上し、当金庫は激しい環境変化を乗り越えられる「しなやかで強靱な組織」へ進化します。

業務改革
1

業務プロセス改革

- 営業店事務本部集中の進化
- ペーパーレス化の進化
- 商品・サービスの改廃
- RPAの導入と運用開始
- 行動基準に基づく営業活動の定着

業務改革
2

店舗体制・
店舗機能改革

- 長期的店舗戦略・ATM戦略の構築
- サテライト店舗の設置
- グループ制の導入
- 営業店の昼休みや平日休業日の導入
- 新たな営業拠点新設の決定

業務改革
3

組織・
人事制度改革

- 一般職の新人事制度への移行
- 本部組織の体制と業務内容の見直し
- 量から質への業績評価の転換
- 子会社・関係会社との連携強化
- しんきん南信州地域研究所の利活用